

# 運用報告書（全体版）

決算日

第53期	2019年4月9日
第54期	2019年5月9日
第55期	2019年6月10日
第56期	2019年7月9日
第57期	2019年8月9日
第58期	2019年9月9日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信
設定日	2014年3月10日
信託期間	2014年3月10日～2024年3月11日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場する不動産投資信託（J-REIT）へ実質的に投資するとともに、円売り、米ドル買いの為替取引を行い米ドルへの投資効果を追求することで、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	J-REITオープン（米ドルコース） ・ジャパン・リート・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 ジャパン・リート・マザーファンド ・わが国の不動産投資信託証券（J-REIT）を主要投資対象とします。
投資制限	J-REITオープン（米ドルコース） ・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の金融商品取引所上場の投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。 ジャパン・リート・マザーファンド ・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資は行いません。 ・同一銘柄の金融商品取引所上場の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月9日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

## J-REITオープン（米ドルコース）

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「J-REITオープン（米ドルコース）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第53期～第58期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
第29期 (2017年4月10日)	11,035	100	△ 4.6	96.4	1,496
第30期 (2017年5月9日)	11,164	100	2.1	96.4	1,515
第31期 (2017年6月9日)	10,600	100	△ 4.2	98.2	1,353
第32期 (2017年7月10日)	10,399	100	△ 1.0	97.0	1,326
第33期 (2017年8月9日)	10,195	50	△ 1.5	98.8	1,247
第34期 (2017年9月11日)	9,814	50	△ 3.2	97.9	1,169
第35期 (2017年10月10日)	10,098	50	3.4	96.7	1,134
第36期 (2017年11月9日)	10,078	50	0.3	97.6	1,077
第37期 (2017年12月11日)	10,329	50	3.0	97.4	1,084
第38期 (2018年1月9日)	10,404	50	1.2	98.0	1,119
第39期 (2018年2月9日)	9,815	50	△ 5.2	98.3	1,052
第40期 (2018年3月9日)	9,573	50	△ 2.0	96.5	1,023
第41期 (2018年4月9日)	9,754	50	2.4	96.6	1,020
第42期 (2018年5月9日)	10,151	50	4.6	97.1	1,058
第43期 (2018年6月11日)	10,203	50	1.0	98.7	1,022
第44期 (2018年7月9日)	10,564	50	4.0	98.2	1,069
第45期 (2018年8月9日)	10,441	50	△ 0.7	97.7	820
第46期 (2018年9月10日)	10,416	50	0.2	98.5	805
第47期 (2018年10月9日)	10,795	50	4.1	96.0	480
第48期 (2018年11月9日)	10,836	50	0.8	97.8	470
第49期 (2018年12月10日)	10,853	50	0.6	98.6	519
第50期 (2019年1月9日)	10,504	50	△ 2.8	97.8	489
第51期 (2019年2月12日)	10,893	50	4.2	96.9	688
第52期 (2019年3月11日)	11,168	50	3.0	93.7	377
第53期 (2019年4月9日)	11,436	50	2.8	96.2	394
第54期 (2019年5月9日)	11,320	50	△ 0.6	97.3	372
第55期 (2019年6月10日)	11,437	50	1.5	98.2	355
第56期 (2019年7月9日)	11,877	50	4.3	96.9	373
第57期 (2019年8月9日)	11,764	50	△ 0.5	98.4	354
第58期 (2019年9月9日)	12,653	50	8.0	97.1	384

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*基準価額の騰落率は分配金込み

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率を記載しています。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託証券 組入比率
			騰 落 率	
第53期	(期 首) 2019年3月11日	円 11,168	% —	% 93.7
	3月末	11,630	4.1	96.6
	(期 末) 2019年4月9日	11,486	2.8	96.2
第54期	(期 首) 2019年4月9日	11,436	—	96.2
	4月末	11,638	1.8	97.3
	(期 末) 2019年5月9日	11,370	△ 0.6	97.3
第55期	(期 首) 2019年5月9日	11,320	—	97.3
	5月末	11,552	2.0	99.1
	(期 末) 2019年6月10日	11,487	1.5	98.2
第56期	(期 首) 2019年6月10日	11,437	—	98.2
	6月末	11,507	0.6	99.1
	(期 末) 2019年7月9日	11,927	4.3	96.9
第57期	(期 首) 2019年7月9日	11,877	—	96.9
	7月末	12,019	1.2	97.7
	(期 末) 2019年8月9日	11,814	△ 0.5	98.4
第58期	(期 首) 2019年8月9日	11,764	—	98.4
	8月末	12,285	4.4	98.1
	(期 末) 2019年9月9日	12,703	8.0	97.1

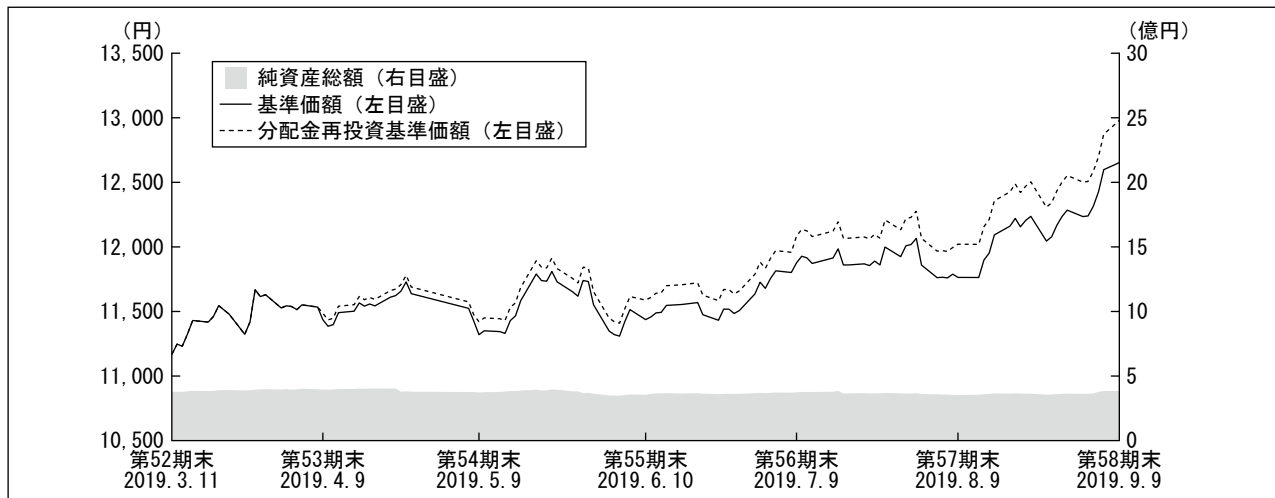
\*騰落率は期首比です。

\*期末基準価額は分配金込み

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第53期首：11,168円

第58期末：12,653円（作成対象期間における期中分配金合計額 300円）

騰落率：+16.2%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、ジャパン・リート・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場する不動産投資信託（J-REIT）へ実質的に投資を行うとともに、円売り／米ドル買いの為替取引を行いました。（上昇要因）

オフィスやホテルを中心に国内不動産市況が好調であったこと、世界的に長期金利が低下する一方、市場の分配金利回りが3%台後半に維持され、投資資金が流入したこと、米中貿易摩擦の激化やグローバル経済の減速が懸念される中、海外要因の影響を受け難い国内REIT市場が物色対象となったことが要因となりました。

（下落要因）

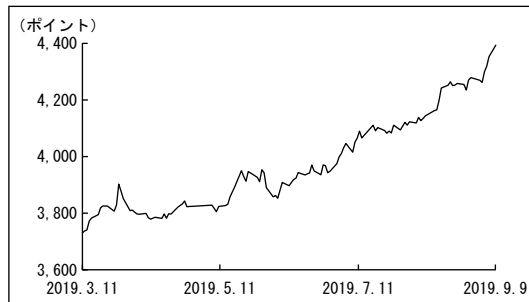
為替市場で円高・米ドル安となったことが要因となりました。

## 【投資環境】

当作成期の東証REIT指数は上昇しました。作成期中の市場は、概ね右肩上がりの展開となりました。①米中貿易摩擦やグローバル経済の減速に対する懸念等に左右されにくい国内REIT市場が物色の対象になりやすかったこと、②都心部を中心としたオフィスやインバウンドに支えられたホテル等、国内不動産市場のファンダメンタルズ（基礎的条件）が堅調さを維持したこと、③特に作成期中盤以降において、米国および欧州の中央銀行による金融緩和に加え、世界的にインフレ率抑制が継続したことで、国内長期金利にも低下圧力が加わり、4%弱を維持するJ-REITの分配金利回りの高さが注目されたこと、などが支援材料となりました。

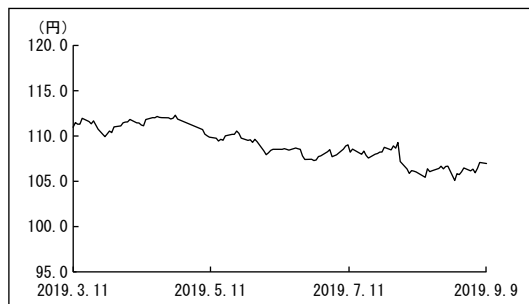
為替相場では、米ドル円は下落し（円高・米ドル安となり）、1米ドル106.95円で作成期末を迎えました。米中貿易摩擦の激化や海外景気の先行き不透明感が増したこと、および米欧中心に金融緩和期待が高まったことで、円が選好されました。

### 東証REIT指数（配当込み）の推移



※東証REIT指数は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、これらの指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関する権利は東証が有しています。東証REIT指数の算出においては、電子計算機の障害または天災地変その他やむを得ない事由が発生した場合は、その算出を延期または中止する場合があります。また、東証は、東証REIT指数がいかなる場合においても真正であることを保証するものではなく、同指数の算出において、指数に誤謬が発生しても、東証は一切その賠償の責めを負いません。

### 為替レート（米ドル／円）の推移



## J-REITオープン（米ドルコース）

### 【ポートフォリオ】

#### ■ J-REITオープン（米ドルコース）

主要投資対象であるジャパン・リート・マザーファンドを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の実質的な投資信託証券組入比率は97.1%としました。また、マザーファンドが保有する円建て資産に対し、円売り／米ドル買いの為替取引を行いました。

#### ■ ジャパン・リート・マザーファンド

当作成期の騰落率は、+19.6%となりました。

作成期中のポートフォリオはJ-REIT構成銘柄の内、分配金利回りの水準、NAV（純資産価値）倍率等の投資指標、および業績動向と財務内容などを勘案し、投資魅力度が高いと判断された銘柄を重点的に組み入れることで構築しました。

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第53期～第58期の各期において50円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

#### ■ 分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2019年3月12日 ～2019年4月9日	2019年4月10日 ～2019年5月9日	2019年5月10日 ～2019年6月10日	2019年6月11日 ～2019年7月9日	2019年7月10日 ～2019年8月9日	2019年8月10日 ～2019年9月9日
当期分配金 (円)	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率) (%)	0.44	0.44	0.44	0.42	0.42	0.39
当期の収益 (円)	50	15	50	50	21	50
当期の収益以外 (円)	—	34	—	—	28	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,679	1,646	1,672	2,110	2,085	2,871

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■ J-REITオープン（米ドルコース）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場する不動産投資信託（J-REIT）へ実質的に投資を行うとともに、円売り／米ドル買いの為替取引を行うことで、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### ■ ジャパン・リート・マザーファンド

J-REIT市場は、分配金利回りが高水準を維持していることに加え、オフィスを中心に国内不動産市場が堅調さを維持していることから、引き続き投資資金の流入が期待できる状況にあると考えています。不動産価格の高騰がもたらす物件取得機会の減少などのリスク要因にも十分注意を払い運用していきます。

## 1万口当りの費用明細

項目	第53期～第58期		項目の概要
	2019年3月12日～2019年9月9日		
	金額	比率	
信託報酬	69円	0.585%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は11,772円です。
（投信会社）	（35）	（0.295）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（32）	（0.269）	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（3）	（0.021）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	65	0.553	売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数
（投資証券）	（65）	（0.553）	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.007	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	（1）	（0.004）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（0）	（0.003）	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	135	1.145	

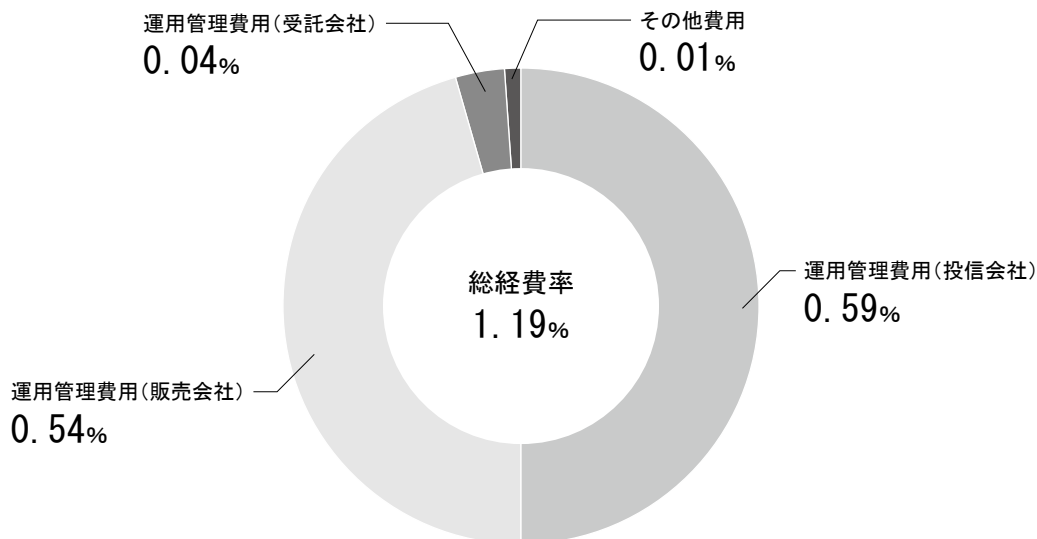
\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



\*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

\*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.19%です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2019年3月12日から2019年9月9日まで）

決算期	第53期～第58期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ジャパン・リート・マザーファンド	90,087	138,813	124,572	192,902



# J-REITオープン（米ドルコース）

## 利害関係人との取引状況等

（2019年3月12日から2019年9月9日まで）

### ■利害関係人との取引状況

< J-REITオープン（米ドルコース） >

当作成期における利害関係人との取引はありません。

< ジャパン・リート・マザーファンド >

区 分	第 53 期 ～ 第 58 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D / C
投 資 証 券	百万円 1,475	百万円 219	% 14.9	百万円 1,453	百万円 218	% 15.0

\*平均保有割合73.9%

\*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

### ■売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

< J-REITオープン（米ドルコース） >

項 目	第 53 期 ～ 第 58 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	2,057千円
うち利害関係人への支払額 (B)	301千円
(B) / (A)	14.7%

\*売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 組入資産の明細

2019年9月9日現在

### ■親投資信託残高

	第 52 期 末	第 58 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ジャパン・リート・マザーファンド	千口 255,601	千口 221,116	千円 384,102

## J-REITオープン（米ドルコース）

### <補足情報>

#### ジャパン・リート・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、ジャパン・リート・マザーファンド全体（348,786千口）の内容です。

#### ■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	2019年9月9日現在		
	口数	評価額	比率
	口	千円	%
日本アコモデーションファンド投資法人	19	13,053	2.2
MCUBS MidCity投資法人	59	6,726	1.1
産業ファンド投資法人	64	9,785	1.6
アドバンス・レジデンス投資法人	67	23,885	3.9
アクティビア・プロパティーズ投資法人	28	14,896	2.5
GLP投資法人	74	10,167	1.7
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	39	13,630	2.2
日本プロロジスリート投資法人	74	21,548	3.6
星野リゾート・リート投資法人	8	4,504	0.7
イオンリート投資法人	34	4,726	0.8
ヒューリックリート投資法人	36	6,940	1.1
日本リート投資法人	18	8,010	1.3
インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	624	12,860	2.1
積水ハウス・リート投資法人	162	15,082	2.5
トーセイ・リート投資法人	10	1,310	0.2
ケネディクス商業リート投資法人	58	16,895	2.8
野村不動産マスターファンド投資法人	145	27,695	4.6
いちごホテルリート投資法人	23	2,978	0.5
ラサールロジポート投資法人	58	8,874	1.5
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	13	5,668	0.9
大江戸温泉リート投資法人	8	708	0.1
投資法人みらい	91	5,460	0.9
森トラスト・ホテルリート投資法人	12	1,680	0.3
三菱地所物流リート投資法人	8	2,568	0.4
日本ビルファンド投資法人	54	43,092	7.1
ジャパンリアルエステイト投資法人	58	41,934	6.9
日本リテールファンド投資法人	89	19,143	3.2
オリックス不動産投資法人	107	25,080	4.1
日本プライムリアルティ投資法人	17	8,483	1.4
プレミア投資法人	50	7,785	1.3
グローバル・ワン不動産投資法人	37	5,694	0.9
ユナイテッド・アーバン投資法人	133	27,265	4.5
森トラスト総合リート投資法人	40	8,080	1.3
インヴィンシブル投資法人	673	45,158	7.5

## J-REITオープン（米ドルコース）

ファンド名	2019年9月9日現在		
	口数	評価額	比率
	口	千円	%
フロンティア不動産投資法人	4	1,834	0.3
日本ロジスティクスファンド投資法人	35	9,684	1.6
ケネディクス・オフィス投資法人	31	25,668	4.2
いちごオフィスリート投資法人	77	8,246	1.4
大和証券オフィス投資法人	11	9,196	1.5
スターツプロシード投資法人	100	19,980	3.3
大和ハウスリート投資法人	75	22,005	3.6
日本賃貸住宅投資法人	135	13,675	2.3
ジャパンエクセレント投資法人	46	7,944	1.3
合計	3,504	589,604	97.3

\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

\*ラサールロジポート投資法人、野村不動産マスターファンド投資法人、インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人、星野リゾート・リート投資法人、日本プロロジスリート投資法人、GLP投資法人、インヴィンシブル投資法人、大和証券オフィス投資法人、いちごオフィスリート投資法人、ケネディクス・オフィス投資法人につきましては、委託会社の利害関係人等である株式会社三井住友銀行が一般事務受託会社になっています。（当該投資法人で開示されている直近の資産運用報告書等より記載）

## 投資信託財産の構成

2019年9月9日現在

項目	第58期末	
	評価額	比率
	千円	%
ジャパン・リート・マザーファンド	384,102	99.1
コール・ローン等、その他	3,444	0.9
投資信託財産総額	387,546	100.0

# J-REITオープン (米ドルコース)

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2019年4月9日)	(2019年5月9日)	(2019年6月10日)	(2019年7月9日)	(2019年8月9日)	(2019年9月9日)現在
	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末
(A) 資 産	791,195,591円	752,762,471円	710,186,719円	742,791,559円	725,142,397円	748,448,174円
ジャパン・リート・マザーファンド (評価額)	396,644,460	379,524,987	363,672,110	373,162,518	361,268,750	384,102,267
未 収 入 金	394,551,131	373,237,484	346,514,609	369,629,041	363,873,647	364,345,907
(B) 負 債	396,315,445	380,201,119	355,127,579	369,027,860	371,131,438	363,467,852
未 払 金	390,198,900	378,152,630	353,064,080	366,637,928	364,991,020	360,901,500
未 払 収 益 分 配 金	1,726,460	1,645,542	1,552,184	1,573,472	1,504,670	1,521,273
未 払 解 約 金	4,022,523	21,983	117,400	464,968	4,255,868	666,212
未 払 信 託 報 酬	364,897	375,554	385,691	340,784	366,495	362,837
そ の 他 未 払 費 用	2,665	5,410	8,224	10,708	13,385	16,030
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	394,880,146	372,561,352	355,059,140	373,763,699	354,010,959	384,980,322
元 本	345,292,072	329,108,530	310,436,952	314,694,440	300,934,063	304,254,748
次 期 繰 越 損 益 金	49,588,074	43,452,822	44,622,188	59,069,259	53,076,896	80,725,574
(D) 受 益 権 総 口 数	345,292,072口	329,108,530口	310,436,952口	314,694,440口	300,934,063口	304,254,748口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	11,436円	11,320円	11,437円	11,877円	11,764円	12,653円

### \*元本状況

期首元本額	338,032,201円	345,292,072円	329,108,530円	310,436,952円	314,694,440円	300,934,063円
期中追加設定元本額	26,705,318円	13,019,402円	20,416,261円	15,179,667円	16,202,819円	15,224,183円
期中一部解約元本額	19,445,447円	29,202,944円	39,087,839円	10,922,179円	29,963,196円	11,903,498円

## 損益の状況

項 目	自2019年3月12日 至2019年4月9日	自2019年4月10日 至2019年5月9日	自2019年5月10日 至2019年6月10日	自2019年6月11日 至2019年7月9日	自2019年7月10日 至2019年8月9日	自2019年8月10日 至2019年9月9日
	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,421,744円	△ 1,933,566円	5,159,614円	15,661,489円	△ 1,552,919円	28,238,566円
売 買 益	12,043,537	3,464,454	13,433,925	17,142,523	7,371,256	28,660,048
売 買 損	△ 1,621,793	△ 5,398,020	△ 8,274,311	△ 1,481,034	△ 8,924,175	△ 421,482
(B) 信 託 報 酬 等	△ 367,562	△ 378,299	△ 388,505	△ 343,268	△ 379,972	△ 365,482
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	10,054,182	△ 2,311,865	4,771,109	15,318,221	△ 1,932,891	27,873,084
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	6,223,596	13,370,112	8,365,376	11,199,403	22,670,198	18,490,046
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	35,036,756	34,040,117	33,037,887	34,125,107	33,844,259	35,883,717
(配 当 等 相 当 額)	( 43,396,094)	( 41,921,311)	( 40,265,743)	( 41,431,132)	( 40,886,081)	( 42,472,170)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 8,359,338)	(△ 7,881,214)	(△ 7,227,856)	(△ 7,306,025)	(△ 7,041,822)	(△ 6,588,453)
(F) 計 (C+D+E)	51,314,534	45,098,364	46,174,372	60,642,731	54,581,566	82,246,847
(G) 収 益 分 配 金	△ 1,726,460	△ 1,645,542	△ 1,552,184	△ 1,573,472	△ 1,504,670	△ 1,521,273
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	49,588,074	43,452,822	44,622,188	59,069,259	53,076,896	80,725,574
追 加 信 託 差 損 益 金	35,036,756	34,040,117	33,037,887	34,125,107	33,844,259	35,883,717
(配 当 等 相 当 額)	( 43,433,060)	( 41,946,719)	( 40,325,035)	( 41,486,801)	( 40,926,521)	( 42,512,366)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 8,396,304)	(△ 7,906,602)	(△ 7,287,148)	(△ 7,361,694)	(△ 7,082,262)	(△ 6,628,649)
分 配 準 備 積 立 金	14,551,318	12,250,058	11,584,301	24,944,152	21,826,437	44,841,857
繰 越 損 益 金	-	△ 2,837,353	-	-	△ 2,593,800	-

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含まず。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

# J-REITオープン（米ドルコース）

## <分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
(A) 配当等収益（費用控除後）	746,942円	525,488円	982,140円	1,236,173円	660,909円	1,841,873円
(B) 有価証券売買等損益 （費用控除後、繰越欠損金補填後）	9,307,240	0	1,274,329	14,082,048	0	23,538,765
(C) 収益調整金	43,433,060	41,946,719	40,325,035	41,486,801	40,926,521	42,512,366
(D) 分配準備積立金	6,223,596	13,370,112	10,880,016	11,199,403	22,670,198	20,982,492
分配可能額（A+B+C+D）	59,710,838	55,842,319	53,461,520	68,004,425	64,257,628	88,875,496
（1万口当り分配可能額）	（ 1,729.28）	（ 1,696.78）	（ 1,722.14）	（ 2,160.97）	（ 2,135.27）	（ 2,921.09）
収益分配金	1,726,460	1,645,542	1,552,184	1,573,472	1,504,670	1,521,273
（1万口当り収益分配金）	（ 50）	（ 50）	（ 50）	（ 50）	（ 50）	（ 50）

## 分配金のお知らせ

決 算 期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
1万口当り分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

### ■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

### ■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# ジャパン・リート・マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2019年3月11日

(第5期：2018年3月10日～2019年3月11日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	わが国の金融商品取引所に上場する不動産投資信託証券（J-REIT）に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の不動産投資信託証券（J-REIT）を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への直接投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資は行いません。</li><li>・ 同一銘柄の金融商品取引所上場の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>

資産運用のベストパートナー、だいwasumizn



## 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<https://www.daiwasbi.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		東証REIT指数 (配当込み)		投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	期中 騰落率		(ベンチマーク)	期中 騰落率		
(設定日) 2014年3月10日	円 10,000	% —	ポイント 2,510.26	% —	% —	百万円 100
第1期 (2015年3月9日)	12,921	29.2	3,191.99	27.2	94.0	670
第2期 (2016年3月9日)	13,624	5.4	3,364.79	5.4	97.7	1,753
第3期 (2017年3月9日)	13,195	△ 3.1	3,345.21	△ 0.6	96.8	1,855
第4期 (2018年3月9日)	12,457	△ 5.6	3,209.47	△ 4.1	96.9	1,259
第5期 (2019年3月11日)	14,525	16.6	3,730.52	16.2	95.3	508

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		東証REIT指数 (配当込み)		投資信託証券 組入比率
	騰落率		(ベンチマーク)	騰落率	
(期首) 2018年3月9日	円 12,457	% —	ポイント 3,209.47	% —	% 96.9
3月末	12,707	2.0	3,274.92	2.0	97.7
4月末	13,021	4.5	3,358.59	4.6	98.0
5月末	13,099	5.2	3,379.45	5.3	98.2
6月末	13,372	7.3	3,450.92	7.5	97.9
7月末	13,456	8.0	3,468.88	8.1	98.2
8月末	13,425	7.8	3,457.71	7.7	98.0
9月末	13,643	9.5	3,513.39	9.5	97.6
10月末	13,416	7.7	3,459.73	7.8	97.6
11月末	13,909	11.7	3,610.49	12.5	98.4
12月末	13,760	10.5	3,543.83	10.4	97.3
2019年1月末	14,313	14.9	3,709.11	15.6	98.0
2月末	14,476	16.2	3,728.00	16.2	97.5
(期末) 2019年3月11日	14,525	16.6	3,730.52	16.2	95.3

\*騰落率は期首比です。

※東証REIT指数は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、これらの指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関する権利は東証が有しています。東証REIT指数の算出においては、電子計算機の障害または天災地変その他やむを得ない事由が発生した場合は、その算出を延期または中止する場合があります。また、東証は、東証REIT指数がいかなる場合においても真正であることを保証するものではなく、同指数の算出において、指数に誤謬が発生しても、東証は一切その賠償の責めを負いません。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期首：12,457円

期末：14,525円

騰落率：+16.6%

### 【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

オフィスやホテルなどを中心に国内不動産市況が好調であったこと、市場の分配金利回りが4%近辺に維持される中、ETF（上場投資信託）を中心に投資資金が流入したこと、米国・中国を中心に貿易摩擦の激化が懸念される中、海外要因の影響を受けにくい国内REIT市場が物色対象となったことが要因となりました。

(下落要因)

地震や台風などの災害でインバウンドへの悪影響が懸念されたこと、継続的にJ-REITを投資対象とする毎月分配型投信から資金流出が続いたことが要因となりました。

### 【投資環境】

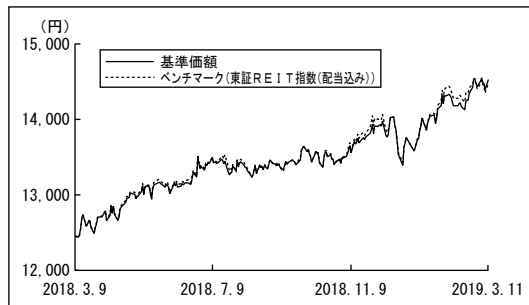
当期の東証REIT指数（配当込み）は+16.2%と上昇しました。

期序盤の市場は、上昇基調となりました。オフィスやホテルなどの不動産市況が好調に推移したこと、J-REIT市場の分配金利回りが4%近辺と高水準に維持されたこと、および米朝首脳会談実現で北朝鮮問題に対する懸念が後退したことから、投資資金が流入しました。また、米国・中国を中心とする貿易摩擦が株式市場の懸念となりましたが、J-REIT市場は海外要因に影響を受けにくく物色対象となりました。

期中盤に入ると、市場は上値の重い展開となりました。日本銀行がJ-REIT買い入れ規模の弾力化を決定し需給悪化が懸念されたこと、指数が節目と考えられた1,800ポイントに近づいたことで高値警戒感が漂ったこと、および台風や地震などの災害によりインバウンドへの悪影響が懸念されたことなどが投資家センチメントを悪化させました。

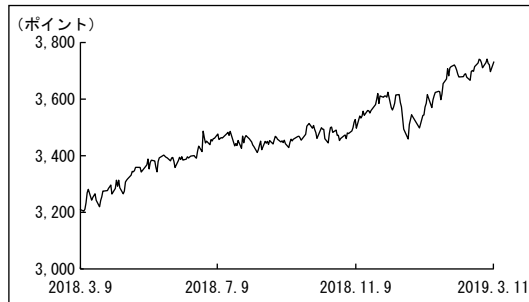
期中盤の市場は、2018年末のグローバルなリスクオフ局面で急落する場面もありましたが、上昇幅をさら

基準価額の推移



\*ベンチマーク（東証REIT指数（配当込み））は、期首の基準価額を基準に指数化しております。

東証REIT指数（配当込み）の推移





## ジャパン・リート・マザーファンド

に拡大し期末を迎えました。オフィスを中心に国内不動産市況の改善が続いたこと、FRB（米連邦準備制度理事会）に続きECB（欧州中央銀行）も金融政策スタンスをハト派化したことに加え、グローバルなレベルでインフレ率が抑制されたことから長期金利がマイナス圏に低下したこと、引き続き4%近傍にあった分配金利回りが投資資金を惹きつけたことなどが支援材料となりました。

### 【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+16.6%となりました。

期中のポートフォリオはJ-REIT構成銘柄の内、分配金利回りの水準、NAV（純資産価値）倍率等の投資指標、および業績動向と財務内容などを勘案し、投資魅力度が高いと判断された銘柄を重点的に組み入れることで構築しました。

### 【ベンチマークとの差異】

基準価額の騰落率は、ベンチマークである東証REIT指数（配当込み）の騰落率+16.2%を0.4%上回りました。

（主なプラス要因）

関西と関東で物件供給過多が懸念された物流リートのアンダーウェイトを維持したこと、好業績を維持していた割安銘柄をオーバーウェイトとするなどの個別銘柄選択が機能したことがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

運用資金の流出入が激しく売買コストが嵩んだことがマイナスに作用しました。

## 今後の運用方針

J-REIT市場は、分配金利回りが高水準を維持していることに加え、オフィスを中心に国内不動産市場が堅調さを維持していることから、引き続き投資資金の流入が期待できる状況にあると考えています。不動産価格の高騰がもたらす物件取得機会の減少などのリスク要因にも十分注意を払い運用していきます。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年3月10日～2019年3月11日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資証券)	107円 (107)	0.792% (0.792)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	107	0.792	
期中の平均基準価額は13,550円です。			

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2018年3月10日から2019年3月11日まで)

### ■投資証券

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内		口	千円	口	千円
	日本アコモデーションファンド投資法人	129	69,151	149	77,795
	MCUBS Midcity投資法人	173	15,076	279	23,459
	森ヒルズリート投資法人	325	46,298	325	46,031
	産業ファンド投資法人	430	50,226	482	57,228
	アドバンス・レジデンス投資法人	249	73,850	335	98,504
	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	1,130	189,894	1,207	207,286
	アクティビア・プロパティーズ投資法人	160	76,894	207	98,576
	GLP投資法人	1,033	117,508	1,317	150,126
	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	153	42,823	154	41,999
	日本プロロジスリート投資法人	450	101,494	464	106,761
	星野リゾート・リート投資法人	118	63,660	67	35,716
	Oneリート投資法人	287	74,272	385	98,236
	イオンリート投資法人	838	105,188	872	109,469
	ヒューリックリート投資法人	569	97,484	781	131,781
	日本リート投資法人	407	140,487	579	202,520
	インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	5,344	84,018	4,861	76,577
	日本ヘルスケア投資法人	18	3,109	7	1,214
積水ハウス・リート投資法人	789 (300)	57,794 (-)	1,055	75,651	
トーセイ・リート投資法人	72	8,103	62	6,940	
ケネディクス商業リート投資法人	505	124,427	633	155,599	

# ジャパン・リート・マザーファンド

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内		口	千円	口	千円
	ヘルスケア&メディカル投資法人	35	3,857	35	3,989
	サムティ・レジデンシャル投資法人	51	4,736	51	4,758
	野村不動産マスターファンド投資法人	856	131,967	1,229	188,204
	いちごホテルリート投資法人	755	102,221	661	91,141
	ラサールロジポート投資法人	482	52,551	609	65,825
	スターアジア不動産投資法人	1,186	125,114	1,181	126,843
	マリモ地方創生リート投資法人	23	2,591	23	2,523
	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	67	22,180	82	27,248
	大江戸温泉リート投資法人	857	72,842	699	59,816
	さくら総合リート投資法人	63	5,680	63	5,419
	投資法人みらい	126	24,048	111	20,747
	森トラスト・ホテルリート投資法人	268	35,529	305	40,911
	三菱地所物流リート投資法人	13	3,129	29	7,205
	CREロジスティクスファンド投資法人	26	2,873	26	2,727
	日本ビルファンド投資法人	136	87,843	259	170,426
	ジャパンリアルエステイト投資法人	199	118,500	295	176,975
	日本リテールファンド投資法人	297	64,042	566	120,771
	オリックス不動産投資法人	151	27,379	343	61,432
	日本プライムリアルティ投資法人	175	72,565	175	71,792
	プレミア投資法人	335	38,703	326	38,314
	東急リアル・エステート投資法人	277	44,313	269	42,485
	グローバル・ワン不動産投資法人	494 ( 81)	56,765 ( -)	567	65,473
	ユナイテッド・アーバン投資法人	531	91,661	916	157,876
	森トラスト総合リート投資法人	455	74,664	752	122,153
	インヴィンシブル投資法人	6,928	331,241	6,615	322,477
	フロンティア不動産投資法人	47	20,663	104	45,959
	平和不動産リート投資法人	1,048	120,872	1,118	129,738
	日本ロジスティクスファンド投資法人	157	34,872	269	60,293
	福岡リート投資法人	137	23,073	220	37,368
	ケネディクス・オフィス投資法人	229	160,184	278	195,654
	積水ハウス・レジデンシャル投資法人	- (△ 123)	- ( -)	-	-
	いちごオフィスリート投資法人	721	65,591	708	66,223
大和証券オフィス投資法人	83	57,723	100	67,957	
阪急阪神リート投資法人	145	20,494	131	18,499	
スターツプロシード投資法人	878	148,391	843	143,074	
大和ハウスリート投資法人	210	54,327	350	88,479	
ジャパン・ホテル・リート投資法人	2,511	205,730	2,803	229,591	
日本賃貸住宅投資法人	589	52,325	747	65,873	
ジャパンエクセレント投資法人	98	14,744	188	27,795	

\*金額は受渡し代金

\* ( ) 内は、分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

利害関係人との取引状況等

(2018年3月10日から2019年3月11日まで)

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2019年3月11日現在

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	口	千円	%
日本アコモデーションファンド投資法人	18	10,296	2.0
MCUBS Mid City 投資法人	31	3,038	0.6
アドバンス・レジデンス投資法人	77	24,101	4.7
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	43	7,692	1.5
アクティビア・プロパティーズ投資法人	26	12,025	2.4
GLP 投資法人	13	1,513	0.3
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	28	8,142	1.6
星野リゾート・リート投資法人	51	27,438	5.4
イオンリート投資法人	56	7,145	1.4
日本リート投資法人	32	13,136	2.6
インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	972	15,707	3.1
日本ヘルスケア投資法人	11	1,884	0.4
積水ハウス・リート投資法人	142	11,487	2.3
トーセイ・リート投資法人	10	1,136	0.2
ケネディクス商業リート投資法人	32	8,566	1.7
野村不動産マスターファンド投資法人	52	7,909	1.6
いちごホテルリート投資法人	121	16,080	3.2
スターアジア不動産投資法人	44	4,655	0.9
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	13	4,439	0.9
大江戸温泉リート投資法人	188	15,641	3.1
投資法人みらい	38	7,223	1.4
日本ビルファンド投資法人	40	28,720	5.6
ジャパンリアルエステイト投資法人	58	37,004	7.3
日本リテールファンド投資法人	36	7,988	1.6
オリックス不動産投資法人	84	15,556	3.1
プレミアム投資法人	52	6,936	1.4
東急リアル・エステート投資法人	37	6,164	1.2
グローバル・ワン不動産投資法人	35	4,417	0.9
ユナイテッド・アーバン投資法人	103	17,623	3.5

## ジャパン・リート・マザーファンド

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	口	千円	%
森トラスト総合リート投資法人	39	6,754	1.3
インヴィンシブル投資法人	1,102	55,981	11.0
平和不動産リート投資法人	35	4,347	0.9
ケネディクス・オフィス投資法人	29	21,808	4.3
いちごオフィスリート投資法人	45	4,594	0.9
大和証券オフィス投資法人	18	13,518	2.7
阪急阪神リート投資法人	14	2,011	0.4
スターツプロシード投資法人	63	10,678	2.1
大和ハウスリート投資法人	5	1,213	0.2
ジャパン・ホテル・リート投資法人	197	16,823	3.3
日本賃貸住宅投資法人	78	6,926	1.4
ジャパンエクセレント投資法人	39	6,107	1.2
合 計	4,107	484,435	95.3

\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

(2) 純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

■ インヴィンシブル投資法人（当期末組入比率11.0%）

## ① 投資法人の目的及び基本的性格

本投資法人は、投信法に基づき、資産を主として不動産等資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行規則（平成12年総理府令第129号、その後の改正を含みます。以下「投信法施行規則」といいます。）に定めるものをいいます。以下同じです。）に対する投資として運用することを目的として設立された法人です。本投資法人の規約（以下「規約」といいます。）第9条に基づき、中長期的な観点から、本投資法人に属する資産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

## ② 投資法人の特色

本投資法人は、投資主の請求による払戻しが求められないクローズド・エンド型の投資法人です。本投資法人の資産運用は、本資産運用会社に全て委託してこれを行います。

## ③ 開示されている直近決算期における投資口1口当たりの資産運用報酬等

項 目	円
(A) 資産運用報酬	57
(B) 役員報酬	1
(C) 資産保管手数料	4
(D) 一般事務委託手数料	8
(E) その他営業費用	41

(注1) 円未満は四捨五入。

(注2) 1口当たりの資産運用報酬等は、下記の簡便法により算出した数値です。

対象決算期の資産運用報酬等の総額  
対象決算期の期中平均投資口数

・対象決算期：自2018年1月1日至2018年6月30日

(インヴィンシブル投資法人 第30期有価証券報告書より作成)

## 投資信託財産の構成

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 財 産 総 額	1,068,185	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	484,435	45.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	583,749	54.6

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年3月11日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,068,185,749円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	531,228,858
投 資 証 券 ( 評 価 額 )	484,435,920
未 収 入 金	36,365,656
未 収 配 当 金	16,155,315
(B) 負 債	559,864,145
未 払 金	34,033,505
未 払 解 約 金	525,830,640
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	508,321,604
元 本	349,973,514
次 期 繰 越 損 益 金	158,348,090
(D) 受 益 権 総 口 数	349,973,514口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	14,525円

\* 元本状況

期首元本額	1,011,429,145円
期中追加設定元本額	646,674,040円
期中一部解約元本額	1,308,129,671円

\* 元本の内訳

J-REITオープン (米ドルコース)	255,601,832円
J-REITオープン (円コース)	94,371,682円

## 損益の状況

自2018年3月10日  
至2019年3月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	49,164,991円
受 取 配 当 金 息	48,772,832
受 取 利 息	89
そ の 他 収 益 金 息	409,266
支 払 利 息	△ 17,196
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	121,013,084
買 入 益	146,712,852
売 出 損	△ 25,699,768
(C) そ の 他 費 用	△ 1,576
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	170,176,499
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	248,510,093
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 498,825,469
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	238,486,967
(H) 計 (D+E+F+G)	158,348,090
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	158,348,090

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。